

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

| | |
|----------|--|
| 会 議 名 | 平成30年度第1回高松市社会教育委員会議 |
| 開催日時 | 平成30年8月1日(水) 午前10時～11時30分 |
| 開催場所 | 高松市役所11階113会議室 |
| 議 題 | (1) 審議事項 高松市生涯学習基本計画(いきいき高松まなびプランⅢ)の推進状況報告について (2) 報告事項 高松型学校・地域連携システム推進事業について (3) その他 |
| 公開の区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 |
| 上記理由 | — |
| 出席委員 | 長谷川委員、葛城委員、青木委員、上原委員、野上委員、藤井委員、(欠席委員3名) |
| 傍聴者 | 0名(定員3人) |
| 報道記者 | 0名 |
| 担当課及び連絡先 | 生涯学習課 839-2633 |

会議の経過及び結果

(1) 審議事項

高松市生涯学習基本計画(いきいき高松まなびプランⅢ)の推進状況報告について
高松市生涯学習基本計画(いきいき高松まなびプランⅢ)の推進状況報告について、事務局から説明し、委員から次のとおり意見があった。

(委員)

「いじめ110番」の電話・窓口相談件数が目標設定がなく、評価不可となっているのはなぜか。

(事務局)

いじめの件数は少ないほうが良いが、相談件数を目標として設定することが適当かを担当課が判断し、数値目標としては設定しないこととしたためである。

(委員)

いじめは深刻な問題である。親や友達にも言えない子がいるため、インターネットやスマートフォンのQRコードでアプリを読み取るなど、子どもがアクセスしやすいように工夫してほしい。

(事務局)

貴重な意見だと思うので、担当課に伝えておきたい。

(事務局)

県教育センターや法務局、警察など、様々な機関が窓口を設置している。子どもに選択肢が増えるほど、いじめの吸い上げができると思う。情報ツールも変わってきているため、可能な限り対応していきたい。

(委員)

「こども未来ネットワーク」について、開催回数は達成できているため、高く評価している

会議の経過及び結果

が、開催回数だけ考えるので良いのか。参加者が減ってきているのであれば、そこも評価に含めるべきではないか。集まりやすい方法を考える必要がある。

(事務局)

開催回数だけをクリアして、必要な参加者が参加していないのであれば、改善すべき点があると思う。御意見を担当課に伝えたい。

(委員)

他の事業の目標設定は、人数が多い。回数を目標にしていることが適切かということも含めて検討していただきたい。

(委員)

文科省でも障がい者の生涯学習に行政主体で進めていこうとなっている。高松市では、知的障がい者青年教室（スキップクラブ）を行っているが、対象が知的障がい者に限定されている。様々な障がいのある方が、既存の生涯学習の講座に参加できれば良いと思う。広報の段階で、どういった障がいであれば参加可能、バリアフリーや機材の有無などが分かれば、参加するハードルが下がると思う。市の姿勢として検討してほしい。

(事務局)

市の取組みとして、ユニバーサルデザインを障がい福祉や教育だけでなく、全庁的に研修を行ったりし、合理的配慮について市の認識として持つようにしている。今後もさらに取組みを拡げていきたい。

(委員)

様式2で、Aを5点～と読み替えしているが、Eを設けてA～Eで評価しないと様式1と様式2の比較はできないと思う。

(事務局)

検討したい。

(2) 報告事項

「高松型学校・地域連携システム推進事業」について

「高松型学校・地域連携システム推進事業」について、事務局から説明し、委員から次のとおり意見があった。

(委員)

これまでも学校と地域が協力し、読み聞かせなどの支援を長年行っている。いかに参加してもらえるかが大事になってくる。もう少し深く掘り下げたところで行っていく必要がある。

(事務局)

各学校が今までもすでに行っている取組みをベースとして、立ち上げているが、今までは、学校を中核として、学校がそれぞれ個別に各団体と繋がっていた。これからは、学校運営協議会という形で、各団体が、一堂に会することで情報交換をし、ネットワークを拡げられ、学校にとっても効果が見られる。

(事務局)

欠席した委員からの意見を紹介する。

- ① 学校長が委員に基本的な方針を説明する時の配慮
 - ・委員に理解してもらえる内容で説明する。
 - ・学校教育の構想図に地域とのかかわりを明示する。
 - ・教育委員会担当者が学校を訪問する際に、学校長が委員へ説明する内容についてヒアリングをしておく。
- ② 学校関係者評価をする時の配慮
 - ・市内の実践事例を教育委員会の方で収集・整理した上で、校長会や教頭会に資料を提示する。
- ③ 各校で重点的にできそうなことから取り組んで、校長面談などの折りに必ずヒアリングをしていくようにしなければ、学校間較差は広がっていくと思う。

(3) その他

委員に意見がないか、また、自身に取り組んでいることで紹介したい内容がないか確認する。

委員から、自身が行われている事業やイベントについて紹介があった。

事務局から、生涯学習センターの多目的ホール天井改修工事について説明した。

他に意見等はなかったため、以上をもって、本日の会議を閉会することとした。

以上